

7月3日 使徒言行録13章13～25節 今日の説教から

説教題：「長い長い神様の計画」

今日の聖書箇所に記載されているのは、長い長い歴史の中で紡がれた「宣教の業」、それがパウロの伝道旅行の中かで語られています。その中でパウロは安息日の礼拝の途中に、「兄弟たち、何か会衆のために励ましのお言葉があれば、話してください」と勧められて、つまりは説教を頼まれたのでした。

パウロはイスラエルの歴史を語り、ダビデから洗礼者ヨハネへとつなげていきます。洗礼者ヨハネは、前もって人々がイエス様を受け入れることが出来るようにと、その信仰の準備として世に与えられました。旧約聖書の時代から新約聖書の時代へと、救いに必要なものが割礼という宗教儀式から洗礼によって至る悔い改めへと、そして従うべき言葉が律法からイエス様の言葉へと変わっていく中で、その橋渡しとしての役目を担った人物です。ただ、ヨハネがそのことを預言したにもかかわらず、ユダヤ人たちは最終的にイエス様を十字架につけてしまうほどに、イエス様のことを拒絶しました。

ただ、それは単純に人間がイエス様のことを殺そうとしたという意味だけではなく、聖書の預言が実現するためにも必要なことでした。十字架にかかり、三日目によみがえる。死を滅ぼす希望の業を人々に示すことによって、神様の御心である救いと復活が確かに与えられることを、それはすなわちアダムとイブの時代から人間に根差している原罪、神さまのことを第一に考えることが出来ないその罪がイエス様によって贖われたということが示されているのです。「あなたがたがモーセの律法では義とされえなかったのに、信じる者は皆、この方によって義とされるのです」とパウロが語るように、イエス様を信じるその信仰によって、ユダヤ人だけではなく、異邦人であっても救いに入ることが出来るという希望がパウロによって語られたのでした。

私たちは、彼らユダヤ人から見れば間違いなく「異邦人」と呼ぶべき、ユダヤ人でもなければ律法を守っているわけでもない人々です。安息日を守りなさいと言われていますが、土曜日はいつも説教作りにかかりっきりになりますし、当然割礼を受けたことはありません。ただ、私たちは洗礼によって、イエス様を主であると告白し、神さまの愛と聖霊の交わりが確かに私たちに注がれていることを知りました。私たちが一人で神様と向き合っているのではなく、今ともに礼拝をする兄弟姉妹たちと共に、教会を支えてきた先達たちと共に、そして何よりその先頭を歩むイエス様と共にこの信仰の道を歩むことが出来ています。だからこそ、私たちは異邦人でありながら神様に招かれているという確信の中で今日も歩むことが出来るのです。

神さまに支えられて、期待されて日々の業へと、その宣教へと派遣される喜びを胸に、今週一週間の、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：使徒言行録 13 章 13～25 節

- 16:そこで、パウロは立ち上がり、手で人々を制して言った。「イスラエルの人たち、ならびに神を畏れる方々、聞いてください。この民イスラエルの神は、わたしたちの先祖を選び出し、民がエジプトの地に住んでいる間に、これを強大なものとし、高く上げた御腕をもってそこから導き出してくださいました。神はおよそ四十年の間、荒野で彼らの行いを耐え忍び、カナン之地では七つの民族を滅ぼし、その土地を彼らに相続させてくださったのです。これは、約四百五十年にわたることでした。その後、神は預言者サムエルの時代まで、裁く者たちを任命なさいました。
- 21:後に人々が王を求めたので、神は四十年の間、ベニヤミン族の者で、キシユの子サウルをお与えになり、それからまた、サウルを退けてダビデを王の位につけ、彼について次のように宣言なさいました。『わたしは、エッサイの子でわたしの心に適う者、ダビデを見いだした。彼はわたしの思うところをすべて行う。』神は約束に従って、このダビデの子孫からイスラエルに救い主イエスを送ってくださったのです。ヨハネは、イエスがおいでになる前に、イスラエルの民全体に悔い改めの洗礼を宣べ伝えました。その生涯を終えようとするとき、ヨハネはこう言いました。『わたしを何者だと思っているのか。わたしは、あなたたちが期待しているような者ではない。その方はわたしの後から来られるが、わたしはその足の履物をお脱がせする値打ちもない。』

キリスト者を対象としたアンケート調査の結果から

質問：あなたの年齢を教えてください。

	20歳未満	30・40代	50代	60代	70代	80歳以上
回答者の年齢	17人	55人	52人	54人	94人	47人

質問：あなたが受洗した年齢を教えてください

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50歳以上
受洗年齢	28人	108人	82人	48人	29人	24人

受洗年齢と年齢から計算

	1940年代	50年代	60年代	70年代	80年代	90年代	00年以降
受洗年度	8人	43人	54人	52人	60人	46人	56人